



# オフィス スパンキング

うっかり姉の会社に入社したら  
毎日、事務所でお尻叩きさやまくりなんだけど  
誰か理由を説明してください！

姉が起業した。  
化粧品クリームの製造販売会社だ。

僕には関係の無いことか？

そうは行かなかった。

大学を卒業すると同時に、

半ば無理矢理入社させられてしまったのだ。

それから、入社してすぐに分かった。

姉の会社には女性社員しかいない。

男性が僕以外にも誰も居ないのだ。

そんな僕に与えられた仕事は、「営業」。

僕は、姉の

「良い成績をあげたらラッパ褒美として、即取締役」

という言葉に乗せられて、頑張った。

でも、男の僕がいくら売り込んで

女性用化粧品クリームなんて売れるはずもなかった。

そして姉は僕に言った。

「いくら可愛い弟でも、営業成績が悪かったら罰を与えるわ」

正直、冗談だと思った。  
単なる脅しだと。  
でも僕はその日を迎えてしまった。

「かやいそうだけども見せしめの意味も込めて、  
恥をかしくお仕置きを受けてもらうやま」

僕はその日の朝礼で、  
他の社員も見ている前で、  
姉にズボン而降ろさせ、  
パンツを剥ぎ取らせ、  
お尻を突き出すやうに机の上に突っ伏して、  
罰を受けた。



お尻叩きの罰を...





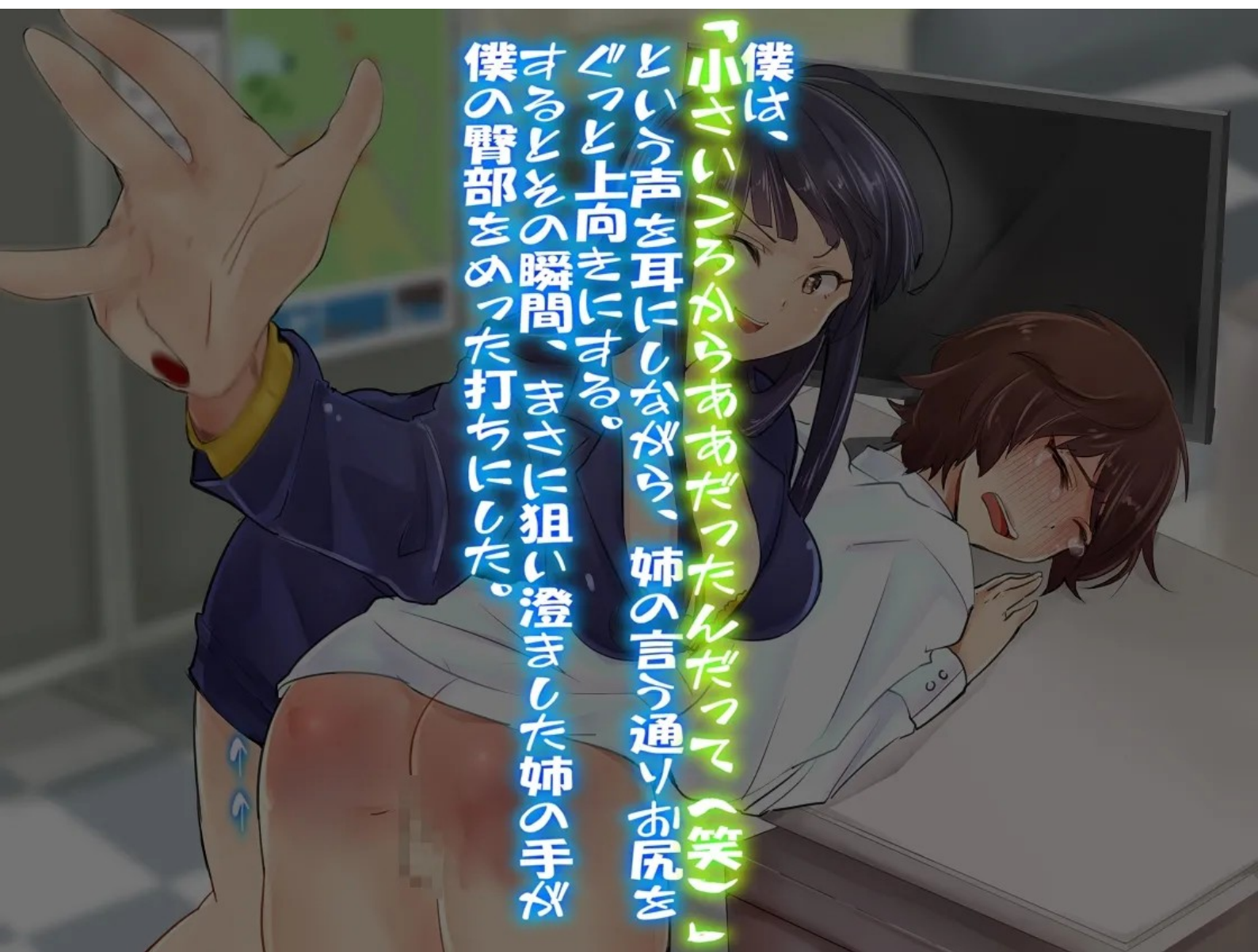
「やめて、お姉ちゃん！  
お尻を叩かないで！  
お願いします！  
お願いだから！」

「ダメよ。  
約束したでしょう？  
営業成績が今のままだったら、  
お尻叩きの罰を与えるって。  
社長が約束を破る訳にはいかないの。  
分かるよね？」

「でも…なんぞ…なんぞの…耻ぢかこまねる…」

「そんが良いのさ。  
たつたつぷり、耻ぢかしい思いをして、  
たああつぷり、反省しなさい。  
反省したら次はもっと頑張るものぬ。  
ほら、お尻叩きの最中はお尻をもっと上向きにして、  
小さい頃からずつとどう教えてきたでございませう。」





僕は、  
「小さいころからああだったんだって（笑）」  
という声を耳にしながら、姉の言う通りお尻を  
ぐつと上向きにする。  
するとその瞬間、まさに狙い澄ました姉の手が  
僕の臀部をぬった打ちにした。





「お姉ちゃん！  
もう許して！  
もう許してえええええ！  
次はっ！  
次はちゃんどゆるからあああ！」

「次はちゃんどゆるら？  
そんは当然でしょう？  
それから会社では「社長」と呼ばない！  
「お姉ちゃん」ではなく「社長」！  
後で罰を追加するわ！  
ほら！お尻が下がってきてるっ！」

ムムム

ムムム





マッ

「どうの、  
どうの、さびじゃあ、さつきの追加罰を  
言い渡さないどね」

「ひっく...ひっく...。  
ゆか...分かりました...」

「次はセッパッパッたいたい。  
営業目標を達成するんですけど、  
分かったためね」

「今日から毎日、朝礼の時  
貴方はお尻を出して参加しなさい。  
お尻の赤みが出たら、  
その都度、お尻叩きをします。  
次期の営業成績が出るまでお尻叩きは  
ずっずっずと続けるわよ」

「……うう……、そんな……」

「あ、それからお尻叩きをさせた日の  
午前中は外回り行かなくても良いわよ」

「えっ」

「お尻出したまま、オフィスで立ってなさい」

「……えっ？」

「……えっ」

「お尻丸出しの姿を見られて、  
真ッ赤に腫れ上がったお尻を見られて、  
他の社員にたっぷり……、  
たっぷり……ぷり笑ってもらいなさい。  
分かったわねっ」



チカチカ一







「……ん、ん……」

「ほら、見てよ。  
あのお尻。」

「恥ずかしいんだぜ。  
ビクビク震ってるし(笑)」

「ホントだ。  
まあ、あの年で、  
しかも人前でお尻パンパンだもんね。  
そりゃ、恥ずかしいよねー」

「……」

「……」

「……」

「……」

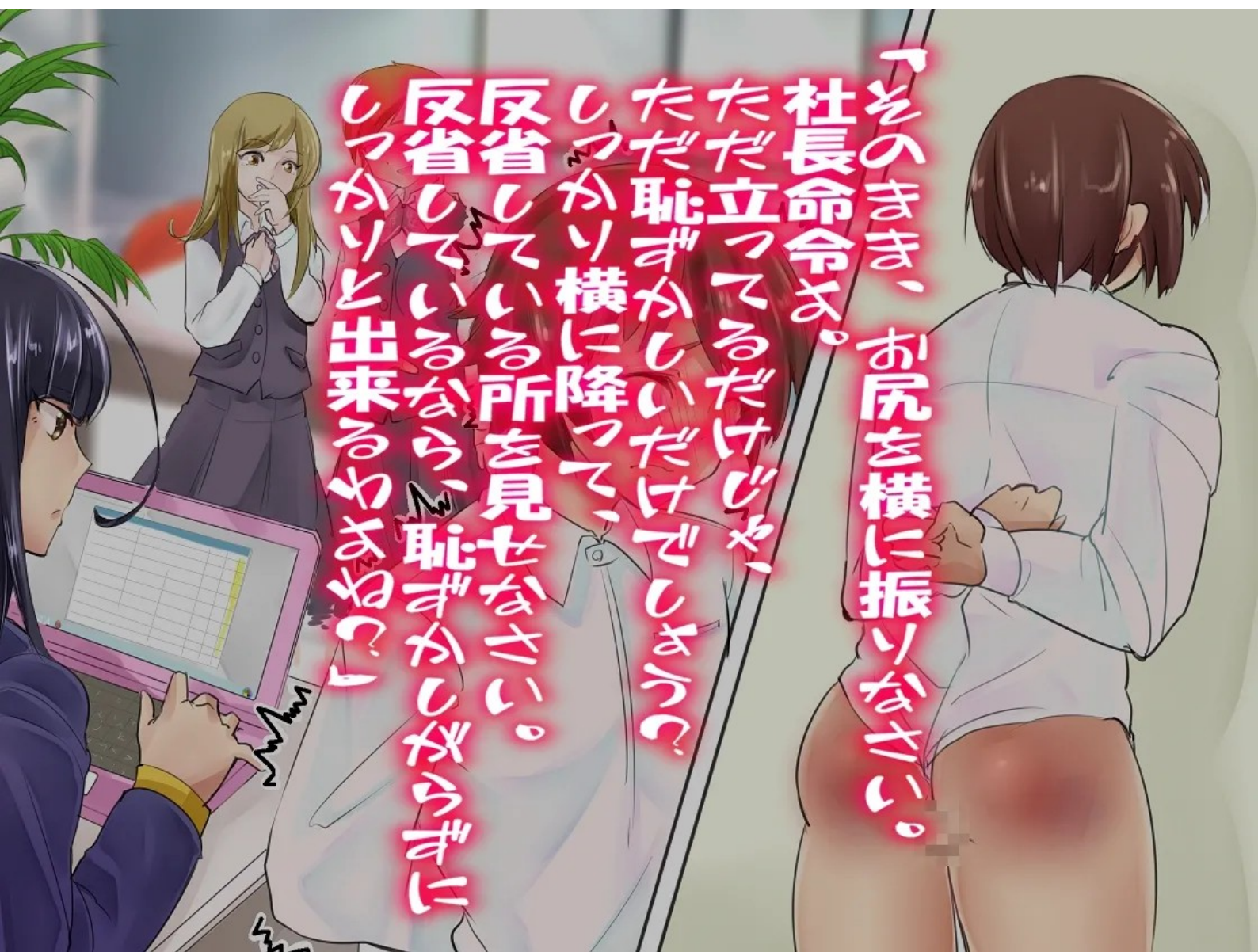
「……」

「……」

「……」



衆目に晒されるだけの、羞恥の時間。  
そんな時、姉から非常の命令がくだされた。



「そのまま、お尻を横に振りなさい。  
社長命令さ。  
ただ立つてるだけじゃ、  
ただ恥ずかしいだけでしょっつこ  
しつかり横に降つて、  
反省している所を見せなさい。  
反省しているなら、恥ずかしいがらまずし  
しつかりと出来るやまぬこ」



「出来ないならそれでも良いです。  
午後もそのまま立ってなさい」











「仕事中に！」

「そ、それも反省中に勃起するなんて……！」

「あり得ないでしようっ！？」

「もう立ってなくて良いわ。」

「その代わり、今日は私が良いと言っただけ」

「トイレの罰掃除をなささい！」

「便器が輝くまで磨くのさ！」



最近の僕にとって、こういう日は珍しくない。

ところが、先日。

僕が売り込みに行った先で

なぜかお客さんが、たくさん商品を買ってくれた。  
その時は嬉しかったけれど……。

良い話には裏があった。



チャター-3



「全く！  
急にたぐさん売って来たと思ったら、  
あんなヤバイところに売り込んで！  
あの奥様は業界では有名なのまっ！  
大量に買ってくやるけど、  
その直後に全商品返品！  
即時全額返金要求。  
応えなかったら、ソッコーで消費者庁行き！  
おかげで、骨折り損の  
くたびれ儲けにしかならなかったのまっ！」

「だって知らなかったから！  
耳を引っ張らないで、お姉ちゃん！」





「待ちません。  
このうちに来なさい！  
もう絶対に逃げられないわよ！  
今までには精々10回20回だったけど、  
今日はどんなに少なくても百回よ！  
百回叩くまでお姉ちゃんには絶対に  
お尻を叩くのを止めませんっ！  
分かりましたね？」

「そんな…百なんて絶対無理。  
絶対無理ですう！」

「おれに、なにも他の社員さんが見ている前で僕を裸にしたくも……」

「自分だけじゃだけ悪いことをしたか、分かっていないみたいね。貴方は会社全体に時間と手間を棄てさせたのよ。おれから死ぬほどキツイ罰を与えらるんだって他の社員の前で見せておかないと、皆納得できないわ！ 貴方はおれだけのことをしたのよっ！」

「お……そんな……」





「お、終わってからも……っ」

「階段を上降り終わる前までに、  
きちんとお尻叩きを受ける覚悟をしろ……  
せめてお姉ちゃんが少ないでも  
お尻を叩きぬさいようにして、誠意と謝意を示すのよ……  
お尻叩きが終わっても、終わりにしないわ……  
今回は徹底的に罰を与えるわよ……」



「当たり前でしょっつ！  
最低でも半年間は毎朝のお尻叩き！  
お尻丸出しでトイレ掃除！  
終業時間前にももう1回お尻叩きまよ！  
もちろんトイレ掃除以外の時間は  
オフィスの壁の前で  
反省の時間として、お尻丸出しで立ってなさいっ！」

「そんな…そんなにたくさん…。  
しかも半年もだなんて…」

「六、社長室に着いたやま。  
覚悟は良いの？」

姉は、僕が返事をする前にドアを開けた。  
そして椅子の上に座り、自分の膝を指差す。

「私の膝の上に腹ばいになりなさい。  
ここで、お尻叩きするわよ」

そういう意味だ。



チカゴク-4

「お姉ちゃん、足がっ  
足がっ!!  
足だけは離してっ!!」

「駄目さ!

こうしてないと、すぐに尻が逃げるぞ! 尻がっ  
尻がっ! ホールドしたまま、続けますからね!!」











「あ……あ……あ……ひぐ……ひぐ……ひぐ……」

「あら？  
もう泣いちゃうの？  
まだ始めたばかりだし、  
泣いても良いけれど、  
絶対に止めないから」



「どうせ泣くなら、下の階にいる他の社員にも  
聞こえるぐらい大きな声で泣いたらどう  
子供みたくに、大きな声で泣いたらどう  
痛いだけじゃなく、恥ずかしいもの  
じゃない、反省する為には大事なもののね。  
じゃあ、続き行くゆさ」

「ぐわんぐわん...ぐわんぐわん...あ...ぶあつ...」

あー

ぐわんぐわん  
ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん























「お尻叩かめた回数だけ射精しちゃうんだ？  
最低ね。」

でもコレでよく分かったわ。

お姉ちゃんのお尻叩きで、

貴方は感じちゃう。

射精しちゃう。

今までも勃起ぐらいはあったけど……。

でもまさかここまで酷いとは思わなかったわ。

膝から降りなさい。

お姉ちゃんに言うことがあるぞお嬢さん。」

言うべきこと...。  
それが何か。  
もう僕には分かっていない。

チャプター5



「お姉ちゃん、ぶめんなつこ。  
僕、あの…あの…  
あの僕……」

「……うん」

「本当は僕はお尻叩きで……  
その…あの…」

「……うん」

「お尻叩きで…感じてました。  
恥ずかしい思いをすると……  
勃起しちゃって……  
その…」

「……うん」



「でも、射精したのは今日が初めてです」

「……んんん」



『アダムはオヤジ』

「……うん。  
まあ言えたね。  
いい子いい子」



貴方は小さい頃からこうやって、  
お尻叩きの後は頭を撫でてもらうのが好きだったよね。  
いい子いい子。

















★製作★

スパンキングLOVE

所属：M小説同盟

【メールアドレス】

[muhi+ednovel@gmail.com](mailto:muhi+ednovel@gmail.com)

【ツイッター・アカウント】

@muran1983

フォローみいっ！！！！！！！！！！

★制作協力★

和田様

【HP】

<http://yarakashi+a.x.fc2.com/>

【pixiv】

[http://www.pixiv.net/member\\_illus.php?mode=medium&illus\\_id=51712587](http://www.pixiv.net/member_illus.php?mode=medium&illus_id=51712587)

【Twitter】

[https://twitter.com/wada\\_chin](https://twitter.com/wada_chin)

〇〇〇アンケート〇〇〇

当サークルは、読者様から広く意見・リクエスト等を募集しております。  
どんなことでも結構です。

アンケートにお答え頂いた方には、御礼のCCを2点送信させていただきます。

次回作以降の参考にさせていただきます。  
以降の定型文を埋める形で送っていただけると幸いです。

次回作の参考にさせていただきます！

《メール返信用アンケート》

作品名：オフィスパンキング

- Q1【この作品を何処でお知りになりましたか？】
- Q2【ダウンロード(購入)のきっかけは何ですか？】
- Q3【お気に召しましたシーンはありましたでしょうか？ あるいはどのシーンでしょうか？】
- Q4【今後こういう作品が見たい等のリクエストや意見があれば何でも、お気軽にお申し付け下さい！  
(ナーズ2人にお尻叩きさめる…等)

メール送信先：muniednovel@gmail.com

《Special Thanks ♪》

スパンキングの魅力 僕のお尻にお仕置きを様

<http://spankingfm.blog13.fc2.com/>

マゾヒストの喜び様

<http://kazouk.com/>

M男な二次作様

<http://monanizisaku.blog.fc2.com/>

エロ同人NAVI様

<http://dnavi.eromoe.com/>

DL同人観測所様

<http://dldojo.in.blog28.fc2.com/>

HENTIリンク+萌様

<http://shirayuki.saiin.net/~henti/>

symas' Forced Feminization Stories (強制女性化小説・情報)様

<http://ff+gmania.blog95.fc2.com/>

桃色魔同人様

<http://blog.livedoor.jp/momoiroma/>

